

# 会 議 録

会議の名称	第25回小金井市保育計画策定委員会		
事務局	子ども家庭部保育課		
開催日時	令和3年3月4日（木）18時00分から18時50分まで		
開催場所	市民会館萌え木ホール A会議室		
出席者	委員	米原 立将 委員長 長汐 道枝 副委員長 平野 麻衣子 委員 井戸下 望 委員 竹澤 千穂 委員 大越 郁子 委員	田邊 満寿美 委員 茂森 俊介 委員 飯塚 絵美 委員 中村 悠子 委員 真木 千壽子 委員 藤原 大介 委員
	事務局	子ども家庭部長 大澤 秀典 保育政策担当課長 平岡 良一 わかたけ保育園園長 杉山久子	保育課長 三浦 真 小金井保育園園長 小方 久美
欠席者	堀尾 瞳 委員		
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可		
傍聴者数	0人		
会議次第	(1) 今後の会議録の確定方法について（確認） (2) 「小金井市すこやか保育ビジョン（案）」について（確認）		
発言内容・ 発言者名（主な 発言要旨）	別紙のとおり		
提出資料	資料65 小金井市すこやか保育ビジョン（素案）に対する意見及び検討結果について（案）【2月25日策定委員会議論反映】 資料66 小金井市すこやか保育ビジョン（素案）【2月25日策定委員会議論反映】		
その他			

令和3年3月4日

開 会

米原委員長

それでは、みなさんこんにちは。ただいまから、第25回小金井市保育計画策定委員会の会議を開始したいと思います。

本日、堀尾さんからご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。また、会議時間ですけれども、おおむね1時間程度を見込んでおりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

それでは、議題（1）です。今後の会議録の確定方法について、に入りたいと思います。本日が最後の会議となりますので、前回と今回の会議録の確定については、委員の皆さんに校正の依頼をお送りいたしますので、期限までにいただいた訂正の連絡を踏まえて、委員長の私の方で確定させていただく、という形にさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（全員）

（異議なし）

米原委員長

ありがとうございます。それでは、前回と今回の会議録については、先ほどご説明した形で進めさせていただきます。

次に、議題（2）、小金井市すこやか保育ビジョンの素案についてに入ります。前回の会議で委員長預かりとなった部分について、その結果を反映したものを資料として本日お配りしておりますので、どこがどうだったのかという説明について事務局よりお願い致します。

事務局（保育政策  
担当課長）

事務局です。この間メールでお送りした資料の差し替え等もございまして、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。大変申し訳ございませんでした。

それでは、資料の説明をさせていただきます。まず、前回会議でございですが、5点ほど、ご意見等があったかなと思っております。そのうち3点についてはどのような修正を行うかというところまで会議の中で確定いただいたかと思っております。それにつきましては、1点目は、「拘わらず」などの難しい漢字を平仮名にすること、2点目としましては、第4章の27ページと28ページをひっくり返すということ、3点目として、子どもの権利条例全文を、ビジョン、それからガイドラインを抜き出した際にも、資料として最後に掲載をすること、以上3点について確認されましたので、資料につきましてはそれを反映したものとなっております。

また、前回委員長預かりとなりました、保育の質の定義と、パブコメの回答記載の丁寧さというところでもございますが、保育の質につき

ましては、最終的に、第3章、資料66をお出しいただけますでしょうか。こちらの、23ページ。こちらのほうに、5行ほど追加をさせていただきますいております。

また、パブコメ回答の記載の部分につきましても、より丁寧な形で記載を変更しております。資料の見方としましては、素案のほう、66の方は、23ページのように変更箇所は白抜き反転という形で表記をしております。パブコメ回答の方につきましても、回答の欄を網掛けさせていただきますので、ご確認いただければと思います。説明は以上でございます。

米原委員長

ありがとうございます。それでは、事務局から修正内容についての説明がありました。保育の質に関するところなのですけれども、23ページに網かけで示してある通り、変更をさせていただきました。

今、声に出して読ませていただきますが、「本ビジョンは示すものです」の下ですね、「保育施設では日々自己評価を通じて保育の質の向上が図られています。保育は人・もの・環境など様々な要素が絡み合って子ども一人ひとりを尊重して実践されているので、その質について一義的に定義をすることが簡単ではありません。このビジョンでは保育の質自体を定義するのではなく、ビジョン及び本市の質の向上の根本となる小金井市の保育の目指すもの・大切にしたいことを以下の通り決めました」とさせていただきます。そのほか、漢字を平仮名にするとかですね、ページを入れ替えるというようなこともお手元の資料では反映されているかと思いますが、よろしければこちらで最終確定したいと思いますが、いかがでしょうか。

それではパブコメの意見に対する検討結果案もご覧いただきまして、この旨をお示しするということになりますが、こちらもよろしいでしょうか。

はい、それでは、こちらで最終確定とさせていただきます。ただ、この委員会で何度も確認されましたけれども、こちらを以て最終確定ではあるのですけれども、日々、保育者の皆さんそれから市民が、活用する中でより良いものにしていくというプロセスというものは大事にしていきたいと思っておりますし、後程市長にお渡しするときには、その旨をお伝えしたいと思います。

(休憩)

米原委員長

それでは、よろしいでしょうか。では、この素案とありますけれども、これを確定させたということで、西岡市長に提出させていただきたいと思っております。

西岡市長

ありがとうございます。

米原委員長

それでは、メンバーの入れ替えは若干あったのですが、2年にわたり小金井市保育計画策定委員会でせいひつに議論されて、小金井市すこやか保育ビジョンをまとめ上げることができました。ただ、こちら

が完成したものをお渡しするだけでなく、このビジョンを活用していただき、小金井市内の保育の質の向上につなげていただくことを一同願っておりますので、その点、よろしくお願い致します。それでは、お渡しいたします。

西岡市長

ありがとうございます。

米原委員長

それでは、最後になりますので、せっかくの機会ですので、委員の皆様から一言ずつ感想などご発言をいただければと思います。

本当に、私も万感の思いがあるのですけれども。それでは、竹澤さんから、順に、一言いただけますでしょうか。

竹澤委員

立った方がよろしいでしょうか。

米原委員長

座ったままで、これまでと同じで良いかと思えます。

竹澤委員

皆様、2年間にわたりまして、本当にお世話になりました。ありがとうございました。不慣れで、本当に最初は発言するのもすごく冷や汗をかきながら発言をしていたのですけれども、本当に皆さんに言いたいことがどれだけ伝わったかなということで、皆さんに、事務局にも、それから皆様にも、ご迷惑をかけたかなと思って、この場でお詫びしたいなと思えます。

実を言いますと、恥ずかしながらと言いますか、私は都庁の児童部で働いていたことがあって、そのころというのは、それこそ措置という、措置の時代だったのですね。それで、今回参加させていただいて、保育サービスという言葉が根付いている時代になっていて、本当に現場の保育を運営されていた先生方とか、皆さんの努力で、全力で保育というのがすごい発展していて、第三者評価の制度があったりとか、本当に昔とは全然違うんだなということで、本当に皆様の行政の皆様とか、学者の先生方のご尽力とかで、本当に保育は、まだまだいろいろ問題もあるのかもしれないのですけれども、発展しているんだなとすごく感じました。

そして、この委員会に参加させていただいて、皆さんが本当にお忙しい中お母さまはお仕事を持ちながら、本当に積極的に、子どもを中心にして、本当にこれからの保育をより良くしようということで皆さんが考えていらっしゃる姿にすごくやはり感銘を受けましたし、保育の現場の先生方も本当に尽力されているというお話の中で本当に感じて、これからの小金井市、それから日本の保育に明るい希望を持って委員を終えることができたことが、すごくうれしく思いますし、皆さんとお話をして繋がりを持てたこともうれしく思っていますので、どうぞこれからもよろしくお願い致します。本当に、ありがとうございました。

井戸下委員

井戸下です。すみません、何も考えていなかったのですが、今何をしゃべろうかと思っているのですけれども。

小金井市で自分の子どもを育てながら、市民活動を長くやってき

て、今は保育のほうも携わっているのですけれども、保育者としては私はまだまだ駆け出しなので、今回この委員会に参加させていただいて、本当に、ものすごく勉強になりました。現場の先生方のお話もそうですし、保護者のお母さんお父さんのお話もすごく参考になりましたし、何より、この計画を作ることを通して、自分自身の保育について考えたり、振り返ったりという機会がものすごく増えたので、本当に良い経験をさせてもらったな、と思っています。ありがとうございました。

来年度は、私がいる施設で、一応私が研修計画を立てるという担当になったので、このガイドラインを活用するというのを、もう計画に入れてあります。入れてあるので、皆様も、引き続き、小金井市の保育の質を向上させていくということ、本当に、これで終わりじゃなくて、ここからやっていくということ、これからも引き続き皆様とやっていけたら良いなと思っています。2年間、どうもありがとうございました。

飯塚委員

飯塚です。2年間、ありがとうございました。今回も、ああ、本当にこれで2年間終わりだなと思って、資料等を見返していたのですけれども、資料を見れば、ああ、こんな話をしたなと思いたすのですけれども、実はあまり記憶がなくて。私自身の問題で、なんでかな、と思ったら、私はこういう委員会とかに参加するのが初めてで、この計画が市の計画の全体の計画の中でのどういう位置づけなのかとか、他にどういう計画があつて、というか、そういうのを全然分かっていないで参加したので、何にも本当に分からないで参加していたなと、今振り返ると思います。

でも、やっていく中で、最初は保育指針というものが既にあるのに、こういうのを、わざわざガイドラインを作るのはどういう意味があるんだろうとか、いろいろ考えもあったのですけれども、市として何を大事にしていくかということを表明するというのが、すごく大事なことなんだなとやっていく中で思いましたし、すごく私自身の勉強になったなと思います。

私は実は他の自治体で、会計年度任用職員というパートみたいな形で働いているのですけれども、経験も浅くて、行政というものがいまいちよく分かっていなかったもので、行政ってこんなふうには計画を立てて事業を立てて進んでいくんだというのがここにきてようやく分かりましたし、先生方の保育への熱い思いというか、たくさん聞かせていただいて、こういう先生方のもとで子どもたちは成長していくんだな、こうやって育ちを見守ってもらえるというのは本当に幸せなことなんだなということを、ここに来てすごく感じたんです。ありがとうございました。

ひとつ、心残りというか、もうちょっと時間があつたら、コロナの

ことでいろいろ時間が短縮されたり、途中中断されたり、いろいろあったのですけれども、パブリックコメントも、せっかく市民の方が、この資料を読むのはすごく大変だったと思うのですけれども、意見を寄せてくださったので、もうちょっと、それを踏まえた議論というのできる時間があつたら良いのかななんて思ったのですけれども、このガイドラインもこれで完成ではなくて、研修やら何やらで、活用していく中でどんどん良いものになっていくことを小金井市の皆さんに期待したいなと思っています。本当にありがとうございました。

藤原委員

藤原です。私は1年間だけだったのですけれども、皆さんの議論についていくのがやっとだったので、ご迷惑ばかりかけたんじゃないかなと思っているのですけれども、こんなふうに関心あることを考えていること自体、全く意識していなかったし、すごく個人的にも勉強になりました。ありがとうございました。

せっかくこういうことをやっているんだよということを知ったので、おそらく知らない方の方が多いと思うので、一生懸命考えた結果こうなっているんだよ、だから大丈夫ですよということを、他の保護者の方にも機会があればお伝えしたいと思います。以上です、ありがとうございました。

大越委員

大越です。2年間、本当にありがとうございました。私は、小金井の保育園で育って、小金井の保育園で預けてと、子どもの立場も保護者の立場も経験して、本当に恩返しじゃないですけれども、そういうつもりで参加させていただきました。

ここに参加するようになって、自分の保育園時代ってどうだったんだろうなというのを、ものすごく振り返るようになってしまって、本当に記憶にまだ残っているんですよ。それぐらい、保育園時代の生活ってすごく色鮮やかに子ども達に残っているのかなと思うと、本当に日々現場で働いていただいている保育士さんの努力でしかないなというのを改めてこの場で再認識することができました。本当に私も、最初入ったときに、右も左も分からないというか、保育の質ってそもそも何？というところからはじまりまして、ただ、本当に委員の皆様からすごくいろんな立場で、いろんな観点で教えていただいて、本当に貴重な経験をさせていただいたなと思っています。

これからどう活用されていくかが本当に大事ななと思っていますので、すこやか保育ビジョンができたことで、保護者も、どこの保育園に通わせても、小金井の保育ってすごく良いよねと思えるような、小金井の保育を実現して行ってほしいなと思っていますし、小金井の保育が発展していくことを本当に心から願っています。皆さん、本当にありがとうございました。

中村委員

中村です。途中から参加で、皆さんのご迷惑になったんじゃないか

と思います。

私としては、いわゆる障がい児（者）という方に向き合って、もう何十年という形でやってきました。そのことが、やはり自分は改めて、この会に参加して、非常に子どもということに改めて考えさせられたんですね。私はずっと向き合っていたのは、この人たちが、どうしたらこの子たちの気持ちを分かってあげられるんだろう、どうしたらこの人たちが豊かな生活になるんだろう、と、そればかりを考えて、そのためにはこれが必要だ、これが必要だというふうに試行錯誤してやっているわけですけども、改めて、子どもの権利とか、いわゆる、子どもってこうやって育つんだよねということが、どうやったら、少しでも、少しでもと追及してきたので、この会に参加できたことは、非常に私にとっては学びの時間になったなと思います。

これは、職員もそうだなと思うんです。職員はどうしても、目の前の、困ったこと、そのことにどうしても向き合いがちなんですね。でも、やはり社会の理解とか、もっとそっちの方にも目を向けなければならぬし、彼らたちが、お母さんたちが、もっと豊かに暮らせるように私たちはこれからも頑張っていきたいなと思っていますので、今後とも、皆さんよろしくお願い致します。

真木委員

真木です。2年間、ありがとうございます。その前の保育検討協議会を入れると結構長いのですが、私は小平に在住しているのですが、小金井のことが本当に分からなかったのが、随分分かるようになって、引っ越してこようかななんて思ったりするのですが、この会の中で、皆さんとお知り合いになれて、すごく、それも人生の宝になったかなと思います。なにかというと、私は45年間の保育者生活が、今年70歳で終わりなんですね。でも、終わっても、今も小方先生とお話していたのですが、もがきながら、あがきながら、まだしぶとく保育の世界につかまっていたいという自分の思いがあるのね。そしたら、10歳ぐらい年上の先輩から言われました。もがきながら、あがきながらじゃないよねと。真木さん、楽しみながらという言葉に変えなさい、と。現実はまだもう、もがいてあがいて、いろいろ苦労しながらやってきたことなのでは、ああ、そうか、これからは楽しみながらという感じで関わっていかねばならないんだなと。

私がすごく感動したのが、委員の皆さんが、すごく勉強していらっしゃるんですよ。この方たちは、何のお仕事をなさっていた方？と。前回は聞きましたものね、あなたたち、何のお仕事をしていた人？と。本当に、保育のプロじゃないかと思うぐらい勉強していてびっくりしちゃったのね。そういうことも含めて、あら、もっと勉強しなくちゃ私たちいけないじゃないという感じで、自分の保育の振り返りにもなりましたし、すごくありがたかったです。

保育の世界にいと、一般市民の方とか保護者の方とかと一つのことについて極めるという機会がないんですね。なので、すごく勉強になったし、この保育の質のすこやか保育ビジョンというのを、小金井の子どもだけでなく、市長さん。日本の子ども、世界の子どもに活用できるような、グローバルな形のものにしていきたい。それは、それぞれ一人ひとりが、市民の一人ひとりがこつこつと伝えていかなければならないし、またそれを、精進しなければならない。そのまず一歩が、課長さん、お願いがある。研修をやってください。このガイドラインを作ったら、研修をして、これの見方、これの解釈はこうなんだよということを伝えていかないと、棚の上の餅になっちゃう。じゃなくて、やはりこれは、こういうふうを活用して、こういうふうにやっていかなければいけないということを、読み砕いていかなければいけないなと思いました。それには、やはり公立の先生たちのお力添えも必要と思いますので、よろしくお願ひしたいと思いますが、本当に無駄な時間じゃなくて、自分の中では、すごく貴重な時間だった。これからも、まだ生きようとしています。これからの人生にすごい一つの支えみたいなものになりました。本当にありがとうございました。また引き続き、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

田邊委員

田邊です。私は、この会議には今年度からということで、私がこの場にいてよいのかなと思ひながらお引き受けしたのが現実です。参加するごとに、委員の方たちのまじめさと勉強の向上心を持っているのを目にして耳にしているところで、本当に私は、子どもに対してこういうふうやっていこうというビジョンを持ちながら、自分なりに、小金井に来てからも10年園長を務めさせていただいておりますけれども、その中で、改めて、違った観点から保育を見直せた機会だったかなというところで、引き受けてよかったのかなと。最初は、私なんか行っても、と思ひていたものですから。ただ、やはり参加したことによって、いろんなことを学ばせていただく機会、それから、保育指針を改めて読み直したりとか、自分の中でもまた学びの機会になったので、これを機に、職員にもこういうものを作っているのよ、と、毎回園を途中で出てくる状況でしたので、良いものを皆さんと作って、これをみんなで作っていこうねという話をして今日も出て参りました。なので、これが始まりということで、終わりではないということで、真木先生も仰ったように、研修というのはすごく大事で、当園でも若い職員が多いものですから、園長の私が指導をする研修だったり、それから他の方をお呼びしてという形で、ただ、学ぶだけじゃ意味がなくて、それを活用していくにはどうしたら良いのかというのが大事かなとすごく日々思ひておりましたので、今回、2年間、私は1年ですけれども、2年間一生懸命考えたものですから、これを皆さんで活かしていけるように、研修をもちろんやっていただきつつ、より

良い保育で、この園に入ってよかった、この市に来てよかったと思っていただけるように、私も精進してまいりたいと思っておりますので、これからまた皆さんのお力を借りながらしていきたいと思っておりますので、今後とも、これが最後ではないので、よろしくお願ひしたいと思っております。本日はありがとうございました。

茂森委員

茂森です。私、2年前の3月は、まだ副園長という立場で、保育に入ることが多かったのですが、そのすぐ1か月後に、園長という立場になりまして、本当に目が回る毎日を過ごしておりました。その中で、保育策定委員会というのをやらせていただいて、園長をやると、どちらかという数字が頭にとというような感じだったので、本当に保育指針を読んで、保育のことを思い出しながら、こちらの会に参加させていただきました。こちらのガイドラインですが、これからもっと現場の方々の意見を出していただいて、活用して、もっともっと良いガイドラインにこのあとになっていただければと思います。

今は、保育士のほうには保育指針を、来年度持つ年齢のところの保育指針を読むようにと書いてあるのですが、来年以降はこちらのガイドラインを、すこやかビジョンを読むようにと言えるようになると良いなと思っております。

あと、一つ心残りなのは、最後に皆さんとおいしいお酒を飲みたかったなというのが、心残りであります。2年間、ありがとうございました。

平野委員

平野です。私は、1年間で途中から参加させていただいたので、力及ばずというか、全然できなかつたところもあるんじゃないかと、役目をできたかということがありますけれども、私自身はこういう会議に参加させていただいて、皆様と同様に学びの多い時間だったなというふうに思っています。もちろん私自身は保育や幼児教育に関わって、現場も経験してまいりましたので、現場とそれから研究・養成の方で携わってはいるので、当たり前のことは多いのですけれども、この会議に来ると、分からないですと率直に意見を伺うことで、ああ、分からないんだ、ということに気づけるといのはとても大事ななというふうに思いましたし、それでも、子どもを真ん中に保育を様々な立場から話し合うということが、全25回で出尽くして、それが一つの形になるというのはとても素晴らしいことだと思いました。

ただ一方で、分かりづらさというのは、こちら側の課題でもあると研究側としてもやはり、研究の中でもすごく言われていることではあるので、そういうことに私自身も何らかの形で貢献していかなければいけないんだなと思っております。でも、これは難しく、分かりやすくなりすぎると、やはりマニュアル化して形骸化していくことがあって、分からないさが一部ぐらい残っているほうが、多分そこに本当に質というか、それぞれに合った柔軟な保育ということが実

現できるんだろうな、なんていうことが、とてもやはり、そういった意味でも、また分かりづらいたと思うのですけれども。一本調子じゃないから。そんなことも、改めてそういう保育が置かれている立場というか状況というようなものを改めて考えさせていただくことになりました。ぜひこのガイドラインが小金井色にどんどん染まっていくことを願っています。ありがとうございました。

長汐副委員長

長汐です。私は保育を専門にしていないものですから、ここにきて、保育指針という話が出て、それ何という、そういうところから始まりましたけれども、お世辞じゃなくて、小金井市ってすごいなと思いました。小金井市に関わるのは初めてなんですね。すごいことはいっぱいあるのですけれども、まず、市民と行政の関係者なんですから、本当に真剣に、こういう難しい保育の質だとか子どもの育ちだとかということを、本当に真剣に議論させてもらっているという、これはね、すごいなというふうに思います。2つ目は、傍聴者が毎回毎回多くて、これは他の自治体になくて、知りませんが、今日いらっやあってない、びっくりしました。相当、何かもめているんじゃないかと私は思ったのですよ。大変なことだなと思ったのです。だけど、毎回毎回お話し合いしている中で、そんなに対立するようなことはなかったですね。みな真剣に子どもの育ち、保育の質について議論してきたわけですね。だから、それでも傍聴者の数って減らないのね。それで、皆さんはお声が小さくて分かりにくいと思うのですよね。でも、一生懸命メモを取ったり、すごいことだなと。これは2つ目。関心しました。何回？会議。25回ですか？減らないですね。まじめだなと思って。素晴らしいなというふうに思いました。

それから、はじめ、皆様がた全然発言されないで、どうしたものかと不安だったんですよね。発言しにくいような雰囲気を作っているのかもしれないと私自身も責任を感じちゃって、どうしようかとグループピングを提案してみたり。覚えていらっやいますか？何とかこう、持っているものを出していただきたいと。いろいろ考えたの。そんなこと、全然心配なかったですね。後半になったらね、皆さん勉強している。プロだなと思うぐらい、委員の方々がすごく質が高い深いことを仰るので、毎回びっくりしていました。

できたものが絵にかいた餅にならないようにするというのが大事ですよね。どうしてもこんな立派なものができちゃうと飾っておいちゃってね、実際に使えないなんてこと多いじゃないですか。そうしちゃいけないなというのが、やはり今思うことですね。

それと、付け足し。私の知り合いの心理士がですね、小金井市の保育園のお手伝いしているらしいんですよ。どこだかは知らないんですけれどもね。そしたらね、小金井市の保育園ってすごいと聞いたんです。すごく子どもを丁寧に見ているということなんでしょうね。それ

でね、その人は他の保育園、他の市の保育園なんかも行っているようなのですけれども、小金井市の保育園はすごいと。それはそうでしょう。みな一生懸命になって策定委員会で質のことを議論しているんだからって。保育園も、きっとそういう基盤があるんじゃないかなと。お世辞抜きにね。私は知らないもので、始まるころに、保育園を見学させていただこうと思ったんですよ。公立、私立、無認可とか、条件の違いがどういうふうに子ども達に影響しているのかってちょっと知らなかったのでも、なかなかうまくいかなかったです。みな保育園に預けていらっしやるとかね、かかわっていらっしやればその辺が分かるんでしょうけれども。本当は、そこから始めたほうが良かったかなと。それは反省です。すみません長くなりました。ありがとうございました。

米原委員長

米原です。皆さんのお話を聞いていて、冒頭のお名前をお聞きするのが、すごく染み入ってくる。これまで私だけが何も言わずに進行していましたけれども、名前をいただいて、ご発言いただいたことが本当に思い出されています。

これまでも、皆さんからもありましたけれども、これほど出席者の委員の皆さんが率直に積極的に発言するという自治体の会議というのは、中々ないんです。本当に、私がこれまで経験してきた中で、すごく発言を引き出さなくて良い会議で。もちろん、最初は大変だったというのは、より皆さんの本当の気持ちとかね、みなさん自身のお言葉で発言いただくっていうのってどうしようかね、という話をして、夜遅くまでこういうやり方はどうだというのを話を共有したのが懐かしいですね。

でも、そのおかげでグループワークを経て、皆さん自身の言葉での発言がどんどん出てきてですね、すごく活発な、勢いのある、生きた委員会になりました。進行がうまくないせいで25回になったのかなと反省しつつも、でも、この回数を重ねたことによって、本当に一步一步着実にすこやか保育ビジョンを作り上げることができたというふうにも思います。実は私、今、厚労省がらみの仕事で、あることを検討しているのですけれども、こういったビジョンとかガイドラインって、世田谷ができ、なんとかができという、小金井は後追いのようなイメージもあるかもしれませんが、こういったものを作っていないところの方が多いんですね。どうも今後は、そういったものをもとに、その地域とか自治体全体で保育の質を上げていくことをやらなければならない方向性になるだろうというような議論をしています。ですので、小金井市は、都から作りなさいと言われた時に、もうできています、と堂々と言えることから、ちょっと先をいく自治体になっているのではないかなと思います。

長汐さんからもありましたけれども、傍聴の方も活発に意見提案シ

ートをもとにご意見をいただいておりますし、こちらに来られなかった方も、いろんなお考え、ご意見があったかと思っておりますので、そういった方々、市民全体で子どものことをどう考えていくのかというスタートラインに立つことができた、田邊先生が仰った通りで、スタートラインです。残念ながらゴールはなくて、そのプロセスをどういうふうにしむのか、真木さんからもありましたように、楽しんで、子ども達の未来を一緒に考えられたらなと思います。

この委員会は本日で区切りはつきますけれども、もしそういった機会をいただけるのであれば、こういう想いでビジョンを作ったんだよというようなお話を、小金井市のみなさんにもしたいなと思っておりますので、手弁当で結構ですので、そのほうが好き勝手なと言えますので、お声がけいただければ、出たいと思います。自転車で15分、20分ぐらいでここには来れますので。ぜひ、また皆さんとお会いしたいと思います。どうも、皆さん、2年間ありがとうございました。

それでは、市長さんに来ていただいておりますので、市長よりご挨拶いただきたいと思います。

西岡市長

皆様こんばんは。小金井市長の西岡真一郎でございます。先ほど米原委員長より小金井市すこやか保育ビジョン（案）を確かにお預かりさせていただきました。受領にあたりまして、私のほうから、ご挨拶を申し上げさせていただきます。

本日は大変ご多忙の中、また、緊急事態宣言のさなか、第25回小金井市保育計画策定委員会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。また、コロナ禍の中、小金井の子どもたちのために、子どもたちの未来のために、保育ビジョンと保育の質のガイドライン策定に多大なご尽力をいただきましたことに、改めて御礼と感謝を申し上げます。本当に、ありがとうございました。

また、このコロナ禍の中、保育を一生懸命担っていただいております、保育従事者の日々のご尽力にも、この場をお借りしまして、改めて感謝申し上げます。関係者の皆様、ありがとうございます。

先ほど、全ての委員の皆様方の感想やこれからのに向けた構想、また、皆様に一生懸命策定していただいた小金井市保育ビジョンへの思いを聞かせていただきました。策定委員会の皆様方には、平成31年3月に、第1回目の会議を開催させていただき、私から委嘱状をお渡しさせていただきました。当初、令和元年度いっぱいという予定のところ、新型コロナウイルスの感染拡大、また、緊急事態宣言などの動向もございまして、一時、会議が開催できないときもありましたことから、また、審議の状況などによって策定期間を1年延長させていただき、引き続きご議論をお願いしました。その結果、2年間という長い間、全25回もの会議を重ね、検討をしていただきました。コロナ禍という平時ではない状況の中で、ご自身のお仕事やご家庭など、本当

にご多忙の中、策定いただきましたことに、大変感謝しております。

小金井市すこやか保育ビジョンにつきましては、私としましては、これまで小金井市になかった初めてとなる保育全体のビジョン、保育の質を向上していくためのガイドラインを策定することは、小金井市にとって大変重要なことと考えております。令和3年度の私の市政方針におきましても、「本年3月に策定予定の（仮称）保育計画を踏まえつつ、保育の質のガイドラインを活用するなど、更なる保育の質の維持向上と保育の施策の充実を図ってまいります」と述べさせていただいております。今後は、小金井市すこやか保育ビジョンを、保育関係者の皆様と共有をさせていただきまして、しっかりと活用していくことが私たちに課せられた使命だと思っております。

また、このすこやか保育ビジョンの中では、第3章に、小金井市の保育の目指すもの・大切にしたいこととしまして、「すべての子どもの最善の利益を保障し、現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培います。地域の自然や人々とつながる中で多様な体験や仲間づくりを通して質の高い保育を目指します。」と纏めていただきました。そして、保育の質のガイドラインの基本目標には、「わたしたちは子ども一人ひとりの最善の利益をともに考え続け尊重していきます」としていただきました。私としましては、こういったビジョンや基本目標を大切にしながら、市政運営に引き続き尽力してまいり所存でございます。

本日お預かりさせていただきました素案につきましては、これまでの策定委員会での議論やパブリックコメントに寄せられた意見等を十分踏まえつつ、より良い施策が実施できるよう市として努めて参ります。子ども達の未来のために、担当していく者も一所懸命に頑張っ参りますので、これからもよろしく願いをいたします。2年間の長きに渡りましてご尽力いただきまして、本当にありがとうございました。今後とも、よろしく願い致します。

米原委員長

西岡市長、ありがとうございました。

それでは、以上で、25回にわたりました保育計画策定委員会を終了したいと思います。皆様、長い間ありがとうございました。お疲れ様でした。

以上